

(家庭数配布)



## 国際理解教育講演会がありました。

6月9日(金)、以下をねらいとして、国際理解教育講演会を行いました。

- ・ 韓国の文化にふれ、韓国について興味を持たせる。
- ・ 互いの個性や文化を尊重し、互いを認め合う気持ちを持たせる。
- ・ 外国にルーツがある人への正しい理解と認識を深めさせる。

講師は昨年度と同じく豊中市教育委員会人権教育係・金生遵(キム センジュン)さんです。金さんご自身がお生まれになったのは日本、その後もずっと日本で生活をしてこられました。ただ、おじいさん、おばあさんが韓国のご出身で、ご家庭では韓国の習慣にもとづき育てられたそうです。日本で生活する中で、やはり様々なところで日本の習慣とは異なることが多く、金さんも子どもの頃は戸惑うことがとても多かったようです。韓国、日本、それぞれの習慣の違いはあるものの「どちらが正しいということではなく、違いを認め合い、お互いを尊重する心が大切だ。」と教えていただきました。



金生遵さん



みんな真剣に聞いています。



最後には韓国の民族衣装も着させてもらいました。よくお似合いですね。

お話をしていただいた金さんに子どもたちが感想(お礼)を書いていますので、紹介します。

ぼくは、かんこくのごはんのマナーをおそわりました。金先生のいえでは、おじいちゃんおばあちゃんが、いちばんさきにごはんをたべます。かんこくではおはしとスプーンでごはんをたべるとききました。また、3年生になったらあえるかどうかわかりませんが、元気にしてください。

金先生へ

チマチョゴリ、はでないろがすごかった。自分たちどんないくらしをしてるのがわかった。みかんのかわ天ぷら、たべてみたい。

日本とちがってかん国のルールや食べ方、いろいろなちがうきまりがたくさんある。おじいちゃんやおばあちゃんは、金さんのことをたいせつに育てていて、おじいちゃんとおばあちゃんは、金さんがすきなことがわかった。

金さんは、子どものころいろんなけいけんがあったからこそ、いろんな国に行っているいろんなことを学ぶことができたんだと思う。今、私たちができる事は、クラスで助け合う事と家ぞくを大切にする事を心がけようと思った。

裏面へ続きます。

自分たちの中でいちばん大切なのは家族だと思った。自分があたりまえとっていたことが外国や他の人はあたりまえじゃないんだなと思った。他の国ではいろんなきまり事があるんだなと思った。

やっぱり差別はだめだなと思った。大事な人を思う気持ちは何よりもすごいものなんだなと海水浴の話聞いて思った。かん国の新年をむかえるときに着る服に意味があるのを知れてよかった。みかんの天ぷらを作りたい。

家のマナーとかじしんのことをおしえてもらえてすごくうれしかったです。ぼくも名前をいじられたこともあるし、いじったこともあります。金さんの話をきいて、名前をいじったらきずついて学校に行けなくなるということを聞きました。なので、これからは人の名前をいじっている人がいたら注意します。

金さんの話を聞いて、名前をばかにされるのは不公平だし、人がほこりを持っている名前を笑うのはだめだと思う。おじいちゃん、おばあちゃんの海での救出劇は、おじいちゃん、おばあちゃんがセンジュンさんを大事に思っているしょうこだと思った。

「一番大事なものは家族」という言葉が名言みたいだったし、すごく心にひびいた。命とか人生の大切さや、多様性について学んだ。そこから名前とかの人の持ちようはほこりであると思った。金さんの話を聞いて、これからは今を思いきり生きたいと思った。

東日本大震災の時、家族がとても心配してくれたという話のことで、「誰かが誰かを思っている」は、まさしくその通りだと思いました。人間は絶対に1人では生きていくことができないから、たがいに誰かが誰かを思って生きているのだと思いました。また、いい人間だけでないので、時には人にきずつけられたり、悲しい思いをしたりすることも、みんなあると思うけど、そういう時にこそ支え合うことが大切だと思うし、今身近に私を支えてくれる全ての人に感謝したいと感じました。

人間はみんな大切な人と支え合いながら生きていけると感じた。自分から大切な人へ言葉を発すると、相手も自分のことを大切に思ってくれる。両方ともおたがい大切に思えたときに、本当の幸せができると思った。

すごく胸にささりました。お母さんの「誰かを大切に思うと、相手も絶対に大切に思ってくれるから。」という言葉がとても大事に思えてきました。私の名前をばかにされて落ちこんだこともあったけど、この名前はお母さんが一生けん命に考えてくれたことを思うと、ほこらしく感じた。

金さんが服を持ってきてくれて、かん国の文化が知れた。また、金さんの家族のことや子どもころの話が聞けて良かった。かん国って、日本よりルールがきびしいんだなと思った。(特別な服を着て、きっちりといきさつをしないといけないことなど) また、「誰かが誰かを思っている」という言葉、こえは私たちの生活にとっても生かせると思うから、とても大切な話だった。

どの感想からも、子どもたちの素直で豊かな感受性が伺えます。このまま、真っすぐに伸びていってくださることを望みます。

## ◇個人懇談 よろしくお願ひします!

来週には個人懇談が予定されています。保護者の皆様には、大変お忙しい中お時間をとっていただくこととなりますが、よろしくお願ひ致します。

なお、本校では、昨年度より通知票を前期・後期の年2回配布としておりますが、このことに伴い、1学期末時点での学習の様子を資料をもとにお伝えすることも含めての個人懇談としております。ご理解、ご協力をお願ひ申し上げます。

